

オープン市場短信 (2007年6月)

2007.6.11

5月のCP市場動向

5月のCP新規発行額は、賞与・納税資金手当て等の企業の資金調達ニーズの高まりから、期落ち(約4兆2千億円弱)を上回る4兆8,000億円強となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。企業の資金調達は相変わらず月末に集中しており、月末最終週は月間発行額の40%に当たる1兆9千億円が発行され、特に27日の月末スタート分の発行額は1兆円を上回った。

発行レートは、月末週を迎えるまでは落ち着いた展開で、銘柄間格差縮小の動きが目立っていた。しかし、月末週に入ると大量発行に伴いレートは強含みとなった。特に、8月の日銀金融政策決定会合において利上げが実施されるとの見方が徐々に広がる中、電機メーカーの3M物の大量発行が行なわれたことから、3Mを越えるターム物のレートが上昇、イールドが明確につく状態となった。

銘柄別の発行レート

5月のCPレートレンジ

格付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.564 ~ 0.579%	0.579 ~ 0.589%	0.590 ~ 0.650%
格付 a-1 (オペ適格)	0.57 ~ 0.589%	0.589 ~ 0.615%	0.600 ~ 0.659%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.57 ~ 0.579%	0.583 ~ 0.599%	0.599 ~ 0.615%
格付 a-1 (リース銘柄)	0.58 ~ 0.620%	0.599 ~ 0.623%	0.605 ~ 0.670%
格付 a-2	0.599 ~ ケ0.90%	0.633 ~ ケ1.20%	0.699 ~ ケ1.50%

CP オペ

29日に期日到来分(2,901億円)が償還され、新規ベースでの入札も行なわれなかったため、月末残高はゼロとなった(月末残高がゼロとなったのは1997年9月以来)。オペ手段として残されているが、投資家のCP購入ニーズが強く、市場取引が活発化しており、ディーラーのオペ依存度も薄らいできていることから、当面CP買い現先オペが実行される可能性は低いように思われる。

ABCP

5月末のABCPの発行残高は約4兆4,454億円(前月比約5,158億円減少)と、前年同月(5兆6,382億円)を大きく下回った。前年比大きく落ち込んだのは、企業の業況回復によって資産流動化ニーズが低下していることによるものと思われる。

短期社債残高

証券保管振替機構発表によると、短期社債の5月末発行残高は20兆円には若干届かず、19兆9,908.88億円と前月比約4,547億円の増加であった。業種別では、事業法人が約4,674億円・金融機関が約5,329億円の発行増となった。一方、ABCPは前月に引き続き減少し、その他金融も微減となった。発行登録企業446社中、既発行企業は415社となった。

現先市場

月中現先レートは低位安定で推移。月中物は、0.52%～0.58%の出会い。

6月のCP市場動向

6月中のCP償還額は、前年（約4兆2,000億円）とほぼ同額の、約4兆2,500億円となっている（除く金融機関発行CP・ABCP）。今月も、5月同様賞与・納税資金目的の発行が増えることから、期落ち以上に発行が膨らむだろう。

発行レートは、前月からの地合いを受けて期間の長いターム物については利上げ警戒感から強含みで推移すると思われる。過去の利上げ局面において、CPは他の金融商品に先行してレート上昇がみられた。今回も、5月末の電機メーカーの大型発行が呼び水となってレートが切り上がり、3M物からそれ以上の長めの発行については0.25%の利上げを織り込むレート形成が行なわれ始めているように思われる。当面は強含み地合いが続くだろう。

CPオペ

買い現先オペは、先月実行されなかった。今月も見送られる可能性が高いだろう。

現先市場

月中現先レートは、S/N物で0.53～0.57%の出会いを予想する。ターム物は0.54～0.58%の水準の出会いを予想する。

（松倉）

参考資料

業種別残高内訳

			単位:億円
業種	5月末残高	4月末残高	増減
事業法人	53,603	48,929	4,674
その他金融	72,543	72,840	297
金融機関	29,226	23,897	5,329
(銀行等	16,391	11,774	4,617
(証券	12,835	12,123	712)
ABCP	44,538	49,696	5,158
計	199,909	195,362	4,547

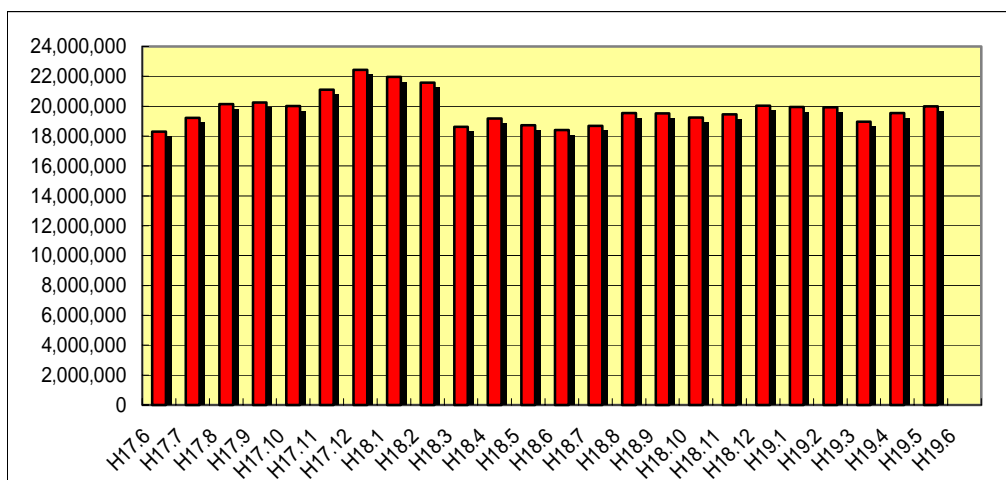
(注:買入消却分含む)

短期社債月末残高 (H17年6月~H19年5月)

5月末発行残高：19兆9,908.88億円

発行登録企業：446社（発行実績あり415社）

（単位：百万円）



5月末発行残高ベスト20

（単位：百万円）

順位	発行企業名	5月末残高
1	三菱 UFJ リース	881,400
2	オリックス	877,200
3	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	625,400
4	フォレスト・コーポレーション	604,300
5	エイペックス・ファンディング・コーポレーション	580,600
6	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	483,100
7	日産自動車	450,000
8	東京電力	422,000
9	みずほフィナンシャルグループ	420,000
10	住友信託銀行	419,800
11	住商リース	407,500
12	みずほコーポレート銀行	399,200
13	三菱 UFJ ニコス	388,000
14	ミレニアム・ファンディング・アセット	369,100
15	みずほ証券	349,500
16	興銀リース	339,200
17	東京リース	313,500
18	新日本石油	310,000
19	日産フィナンシャルサービス	300,000
20	三井住友銀リース	287,300

参考出所 (株)証券保管振替機構